

令和7年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校附属中学校

教科名	技術・家庭 技術領域	対象学年	1年	週時数	1
使用教科書	「東京書籍」技術・家庭 技術分野		教科担当	技術・家庭 技術科 小田 仁吏	
副教材	「東京書籍」学習ノート				

授 業 計 画

目標	授業の年間	* 伝統的な技術や最先端の技術を知り、生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と社会、家庭とのかかわりあいについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。															
学期	月	単 元	学 習 内 容	配当時間	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	学 習 の 到 達 目 標	評価のための判断材料								
主な学習内容	1 学期	4	ガイダンス	・技術科について ・1年間の授業内容 ・実習や衛生、安全について	13	○	○	○	・一年間に学習する内容理解する ・科学技術の進歩についての概要を知る	・授業振り返りシート ・実習作品 ・製作図 ・定期試験 ・自己評価用紙							
		5	材料と加工の技術	・製品の工夫と技術の進歩					・正しいものづくりのためには素材としての材料が重要であること ・木材、金属、プラスチックといった素材の代表的特徴を整理させる。 ・木材の特徴や性質を整理させる。								
		6		・ものづくりの進め方 ・いろいろな材料の特徴と利用方法 ・設計の進め方 ・使用目的と製作品の決定 ・機能、構造、材料の検討 ・加工方法の検討 ・立体の表し方					・ものづくりの大まかな手順を理解させる。 ・ものづくりのための工具や機械について知らせ、その正しい使用方法を知る。 ・構想の練り方の重要性を知らせる。 ・立体の表し方を理解し、表現できるようにする。								
	7	2 学期	材料と加工の技術	・制作の進め方 ・部品表と工程図 ・各工程の進め方 ・部品どり(けがき、切断)	15	○	○	○	・実習にあたっての注意点、確認 ・製作品の確認、計画 ・使用工具や機械の確認 ・工程に従い各工程ではどの工具や機械を使用したらいいのかを選択できるようにさせる。 ・各工具、機械を効率よく、安全に使用できるようにする。	・授業振り返りシート ・実習作品 ・定期試験 ・自己評価用紙							
	9			材料と加工の技術					・塗装 ・製作品の評価		7	○	○	○	・塗装の意義を考え、美しく、永持ちするような工夫をした塗装を行う。 ・自己の製作品に対して客観的な評価をさせる。	・授業振り返りシート ・レポート ・自己評価用紙 ・定期試験	
	10								情報の技術						・情報技術の原理・法則と仕組み ・情報のデジタル化 ・情報通信ネットワークの仕組み		・現代のコンピュータやインターネットを中心とした情報化社会の仕組みを知り理解する ・情報通信網について理解する。 ・双方向性のあるコンテンツのプログラミングを知る。
	11														・自己評価用紙への記入、授業観察、 ・評価用紙 ・定期考査、製作品の完成度 ・授業や実習への参加姿勢		
12	・自己評価用紙への記入、授業観察、 ・評価用紙 ・定期考査、製作品の完成度 ・授業や実習への参加姿勢																
3 学期	1 ・ 2 ・ 3	材料と加工の技術	・塗装 ・製作品の評価	7	○	○	○	・塗装の意義を考え、美しく、永持ちするような工夫をした塗装を行う。 ・自己の製作品に対して客観的な評価をさせる。	・授業振り返りシート ・レポート ・自己評価用紙 ・定期試験								
				35													

評価の観点	・製作手順を理解し、製作を行っている。
	・各製作工程を意識し、効率的かつ完成度の高いものにしようと思掛けていたか。
	・安全や衛生に気を配り実習を受けられる心構えを持って参加しているか。
	・自らの生活を振り返り、実生活や社会に役立てようと思えるか。
評価の方法	・自己評価用紙への記入、授業観察、 ・評価用紙 ・定期考査、製作品の完成度 ・授業や実習への参加姿勢
	・自己評価用紙への記入、授業観察、 ・評価用紙 ・定期考査、製作品の完成度 ・授業や実習への参加姿勢
	・自己評価用紙への記入、授業観察、 ・評価用紙 ・定期考査、製作品の完成度 ・授業や実習への参加姿勢
	・自己評価用紙への記入、授業観察、 ・評価用紙 ・定期考査、製作品の完成度 ・授業や実習への参加姿勢